

No.251

気象庁の予報によれば、今年の残暑が平均並み以上になる確率は80%くらいだそうです。この夏の暑さと節電対策に、皆さんはどんな工夫をされていますか？

冷蔵庫の上手な活用方法や家電製品の待機電力の見直し、クーラーに頼らず涼しさを得る方法など、節電の工夫があらごちらで紹介されています。

私たち住友金属グループでは、家庭の電気やガスなどの使用量を記録し、そのCO2排出量を知ることができる「環境家計簿」という、私たちの独自のシステムを導入しています。今夏は全国的な電力不足に対応して、この「環境家計簿」を利用した節電を、住友金属グループの社員に呼びかけています。7月から9月の間、昨年比電力使用量削減の成功理由を報告した人のうち、高節電率の上位400人に、賞品としてLED電球がプレゼントされるキャンペーンです。汗を流して知恵を絞った工夫の報告が楽しみです。

さて、今月のレビューは受賞の話題が盛り沢山です。

最初は、受賞の報告です。トヨタ自動車九州（株）殿より、「鋼板品質レクサス賞」を、トヨタ自動車（株）殿からは「品質感謝状」をいただきました。

二つ目は、鹿島製鉄所 製銃部の濱田さんの、「平成23年度春の黄綬褒章」受賞です。

最後は、交通産機品カンパニー製鋼所が、長年の献血活動貢献が認められ「献血推進全国大会厚生労働大臣表彰」受賞の話題です。



●品質の高さをご評価いただきました
トヨタ自動車九州（株）殿より、「鋼板品質レクサス賞」を4年連続受賞
トヨタ自動車（株）殿より「品質感謝状」を3年連続受賞

自動車用に使われる鉄は、様々なデザインに加工できたり、燃費を向上させるために車体の軽量化に貢献したりなど、お客さまが求める品質や機能、仕様は多様です。私たちは、こうしたお客さまのご要望にお応えしています。

今回、私たちは、トヨタ自動車グループ殿より2件の表彰をいただきました。

一つ目は、レクサスブランド車を生産しているトヨタ自動車九州（株）殿（以下、トヨタ九州殿）より、「鋼板品質レクサス賞」を4年連続で受賞しました。

この賞は、トヨタ九州殿より、品質目標の高いレクサスの製造において、年間を通じて、高い品質基準を満たしたメーカーに贈られる賞です。当社から定期的に経験豊富な品質巡回者をお客さまの製造現場に派遣することで、納入した鋼板の品質状況把握につとめ、ご要望があった際は、製鉄所へ迅速にフィードバックする体制を整えています。こうした体制整備や、高品質の鋼板を安定して納入している実績を高く評価されての4年連続受賞となりました。

二つ目は、私たちが、トヨタ自動車（株）殿（以下、トヨタ殿）から3年連続で「品質感謝状」をいただきました。私たちの品質管理活動への積極的な取り組みやトヨタ殿の品質向上目標の達成などの取り組み姿勢を高くご評価いただき、今回の感謝状の受賞となりました。

私たちは、今回の2つの名誉ある受賞を励みに、これからもお客さまにさらにご満足いただける品質を追求していきます。



写真左より、
トヨタ自動車九州（株）
取締役宮田工場長兼車体部部長 米岡俊郎様、
住友金属工業（株）
薄板生産技術部部長 花畑浩喜、
トヨタ自動車九州（株）
車体部副部長 楠根浩二様



●焼結鉱製造を支える匠の技

鹿島製鉄所 製鉄部製鉄原料工場 濱田雅之さんが、黄綬褒章を受章

この度、鹿島製鉄所 製鉄部製鉄原料工場の濱田雅之さんが、平成23年度春の黄綬褒章を受章しました。黄綬褒章は、第一線で業務に精励し、他の模範となるような技術を持っている人に贈られる褒章です。

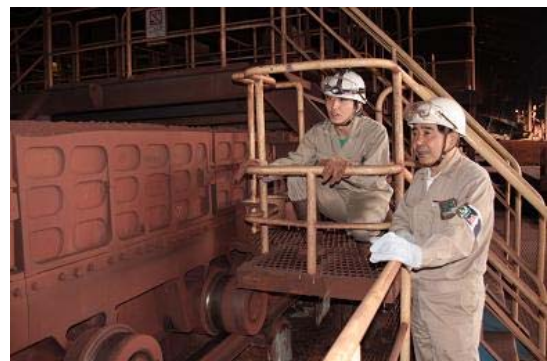
濱田さんは、1970年の入社以来、高炉に供給する焼結鉱の製造業務に従事してきました。焼結鉱とは、高炉で溶かし易い状態にするために、粉の鉄鉱石と石灰、コークスを焼き固めたものです。

焼き固めたばかりの焼結鉱は、600度以上の高温です。そのままベルトコンベアに載せるとベルトが焼けてしまうため、冷却機で、70度くらいまで冷却します。水で冷やすと焼結鉱が高炉の中で割れやすくなり、高炉内で目詰まりをおこすので、長時間、送風冷却してから高炉に送ります。そのために、膨大な電力コストがかかっていました。また、気温の高い夏場は冷却能力が下がって、焼結鉱の生産能力が低下するという問題もありました。

そこで、この問題を改善するために、濱田さんは、「水をかけると焼結鉱の強度が低下して高炉の中で割れやすくなる」という従来の常識をくつがえし、送風に加えてミストを冷却機内に投入し、強度が低下しない仕組みを実用化しました。しかし、その成功の陰にはミスト用ノズルの選択や送水がうまくいかずに、何度も何度も冷却効率向上テストを繰り返すという苦労もありました。そして、試行錯誤の結果、水分量のコントロールに成功し冷却速度も上がり、送風コストを約60%削減、焼結鉱の生産性を大きく向上させました。

長きに亘る経験と数々の設備改善を重ねてきた濱田さん。後輩たちからも「わからないことがあれば適切なアドバイスがもらえる」と、とても頼りにされている存在とのこと。優しさで厳しさを使い分け、後輩の業務指導や技能伝承にも力をいれています。

今回の受章で濱田さんは、「高炉原料の事前処理である焼結鉱の製造が注目され、評価されたことを大変うれしく思います。一緒になって苦労した同僚や支えてくれた上司、諸先輩に改めて感謝を申し上げたい。そして、高品位焼結鉱の製造と生産性を追求するために更に技術を磨いていきたい。」と語りました。更なる高みを目指してまだまだ進み続ける濱田さん。濱田さんのような優れた技術者たちが築いてきた技術のひとつひとつが住友金属の「ものづくり」を支えています。



製鉄原料工場にて 右側が濱田雅之さん

●「愛の血液助け合い運動」は永遠です
交通産機品カンパニーが「第47回献血運動推進全国大会」厚生労働大臣表彰を受賞しました。

「献血」は、健康なひとならでの貴重な社会貢献。まさかの時に、あなたの大切な人の命を救うボランティア活動です。このたび、私たちの交通産機品カンパニー製鋼所（大阪市）が、献血運動への貢献で、「厚生労働大臣表彰」という大きな賞をいただきました。

製鋼所は、鉄道車輪と車軸、自動車エンジンのクランクシャフトをはじめとする交通に関する重要部品と産業機械品などの特徴ある製品を造っています。50年ほど前から所をあげての献血運動を続け、ここ数年は関係会社を含めた従業員約2,700人のうち、年間のべ350人ほどが献血に協力しています。長年の活動に対し、日本赤十字社大阪支部から感謝状や有功章、大阪府知事や厚生労働大臣からの感謝状を、併せて7回受賞しています。今回は、これらの受賞実績と長年の地道な活動、毎年多くの方が献血に参加してきたことなどが認められ、大阪府知事の推薦で、栄誉ある「厚生労働大臣表彰」に選ばれました。

受賞式は、7月29日（金）に開催され、大阪府ではライオンズクラブ3団体と私たちが受賞しました。

今年は、その他事業所でも同じようなご評価をいただきました。特殊管事業所（兵庫県尼崎市）は日本赤十字社功労感謝状を、鹿島製鉄所（茨城県鹿嶋市）は厚生労働大臣感謝状をそれぞれいただきました。

一人ひとりの活動が、多くの人々の命を守るという意義ある活動に広がっています。私たちは、これからも、従業員一人ひとりの善意と社会貢献を応援していきます。

